

# 結晶母

結晶母(けっしょうも)2003年8月号

誌上平和セミナー:「紛争と広告代理店」

報告:メンバーズワンディミーティングほか

## 『結晶母』

結晶ができる時、最初に生れる結晶。

それが結晶母。

結晶母の周りに同じ形をした元素が集まって、

ひとつの大きな結晶をつくる。

ひとつひとつの結晶は小さくても、

結晶母を中心に集まった大きな結晶のネットワークは

強く、たくましい!

そんな大事な結晶母の役割を

地球に住むひとりひとりが果たせたら・・・。

そんな願いを込めて、名づけました。

発行:テラ・ルネッサンス事務局

612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 5-23 内藤マンション 302

TEL/FAX 075-645-1802

## テラ・ルネッサンス設立目的 『世界平和の実現』

※世界平和・・・誰もが安心して生活できる社会

当会の事業を通じ、人々に『次世代に対する責任』を啓発し、それぞれが個人、家庭人、社会人、そして地球市民として、未来の子どもたちの生活をも視野に入れた生活(簡素な生活)を実践することにより、人類共通の理想『世界平和』を実現する

## 『テラ・ルネッサンスへの想い』

代表 鬼丸 昌也

### ●設立までの軌跡

あるNGOの機関誌に掲載された文章を、ご紹介します。なぜテラ・ルネッサンスを設立したのか。講演活動を始めたのか。など、設立当初の想いが凝縮された文章ですので、ぜひお読み下さい。



### 『地雷原』とは？

皆さん、最初にクイズです。何個以上、地雷が埋められている場所を「地雷原」と呼ぶと思いますか？100個以上？50個以上？…いいえ、答えは0個です。地雷原とは、地雷が埋められている場所だけでなく、住民が、『この土地には地雷が埋められているかも』と思っている場所も含まれます。地雷は、地雷への恐怖心だけで人々の生活を規制してしまうのです。

### 対人地雷の種類と特徴

対人地雷にはたくさんの種類が存在し、タイプに応じて様々な被害をもたらしています。

例えば、破碎型地雷は、ワイヤーにひっかかると爆発。地雷そのものが数百の鉄の破片になり、周囲の人や動物を殺傷します。また、アフガニスタンでは散布型の地雷がたくさんばら撒かれました。この地雷は広範囲に散布できるように蝶に似た形に設計されています。その地雷をおもちゃと間違えて子どもたちが拾ったり遊んだりしたときに爆発、手や視力を失うこともあります。戦争に関係ない人も無差別に殺傷するため、地雷は「悪魔の兵器」とも呼ばれているのです。

### 地雷被害者の生活

30分に1人、1日に50人…これは世界のどこかで地雷に触れ、犠牲となった人々の数です。1年間で2万人もの人が手足や命を地雷によって失っています。

地雷の被害者は、それ以前と全く違う生活をしなければなりません。一家の働き手である父親が、地雷によって手足を失った場合、家族の生活は残された女性、子どもたちが担わなければなりません。家族を養うことのできない男性は、その苦しさから逃れるためにお酒を飲み、家族に暴力を振るうことさえあります。たとえ、命が助かったとしても、家族全員が苦しむことになるのです。

### カンボジアの地雷原で…

初めてカンボジアを訪れ、地雷原に足を踏み入れた時に、「音がしない」ことに驚きました。地雷が埋められていなければ、人々が田畑を耕し、子どもたちが遊ぶ。そんな生活の息吹が聞こえるはずです。さらに訪れた、ポルポト政権時代の虐殺現場「キリングフィールド」では、たくさんの赤ん坊が木に叩きつけられ殺されていった現実を知ることになります。カンボジアで出逢った地雷や戦争のもたらす悲しい現実。今でも世界の各地で、ポルポト時代のカンボジアのような悲しい現実は続いています。けれども、何もできない自分の姿に、無力感を感じました。

### Change is possible(変えられないものなんてない！)

「Change is possible ! Anything is possible ! We should always strive to make the best of what

we have! (変えられないものなんてない。何だって可能だ。僕たちはいつだって自分のできる限りのことを精一杯すればいい。)

無力感に包まれた私を支えたのは、この長野オリンピック聖火最終ランナーのクリス・ムーンさんの言葉です。「地雷に触れ、右手足を失った自分だからこそ地雷廃絶のためにできることがある」と、義足でフルマラソンを始め、今も世界の様々な場所で、地雷廃絶を願って走り続けています。

ひとりから、みんなへ(テラ・ルネッサンスを設立。その後…)

「地雷除去の技術もなく、たくさん寄付ができない僕にもできることがある、この悲惨な現状を自分の言葉で伝えていこう!」。3年前から大阪高槻市で講演活動をスタートし、これまでに130回の講演を行ってきました。現在では地雷除去、地雷被害者支援などを行うNGO「テラ・ルネッサンス」を設立し、地雷のない誰もが安心して暮らせる社会を目指して、活動を続けています。  
( <http://www.terra-r.jp> )

2002年9月には、シンクロナイズドスイミングの五輪銀メダリストたちの協力を得て、チャリティーイベントを開催し、3000名もの参加者を集めたり、地雷に関する国際会議に出席するなど、ひとりから始めた活動の輪は、確実に大きく広がりつつあります。

### 私たちにできること…心の地雷を取り除こう

地雷をすべて取り除くのに莫大な時間と労力がかかります。果てしない作業だからこそ、目の前の地雷一つを取り除きましょう。一つ取り除けば、地雷ひとつ分、平和な大地を子どもたちに渡すことができるのです。

そして、地雷は大地だけではなく、私たちの心の中にも、「無関心」という形で潜んでいます。私たちの心から、私たちの地球から、地雷が全部なくなるその日まで、「一つひとつ…」を続けましょう。



### ●テラ・ルネッサンス事務局が開設1周年

京都市伏見区に構えた事務局が、今年6月で開設から1年を迎えました。この事務所で、Lions Experience in Kyoto 2002(2002年9月)、設立1周年記念トーク&コンサート(2002年12月)も全て、この事務局で準備を行いました。泊り込んで、ほとんど寝ずに準備を重ねた日々。印刷物の締め切り間に合わせるために、パソコンを見つめ続ける日々。いろんな時間が重なっていきました。

その日々の積み重ねが、現在の活動の広がりにつながっていることを、強く実感しています。

今年も新しいドラマが、この事務局から生まれてくることでしょう。ご期待下さい!

### ●テラ・ルネッサンスの新しい方向性…『Children First!』

テラ・ルネッサンスが地雷問題を扱うNGOから、子ども兵、小型武器など、平和問題を全般に扱うNGOに変化しようとしています。広がりを見せる活動の根底に流れるテーマとして「Children First!」を掲げます。

子供にとって最善の方策は?子どもたちに明るい未来を残すために、今を生きる私たちに何ができるのか?そのことを常に考えながら、テラ・ルネッサンスのあらゆる活動を進めていきます。常に未来を考え、現在を歩き続ける。そんな現実的なNGOでありたいと願っています。

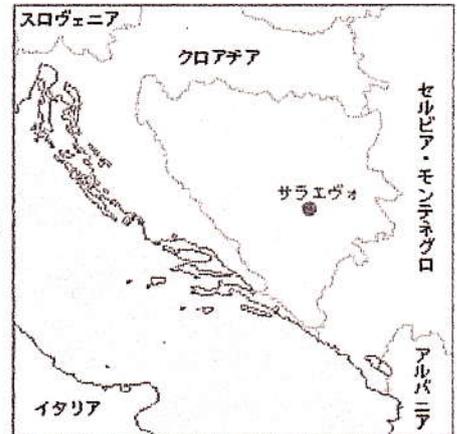
## 紛争と広告代理店(紛争ビジネスと私たち)

テラ・ルネッサンス

## ●PR会社(広告代理店)の活躍 ～ボスニア・ヘルツェゴビナの事例～

## 【ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争】

約 430 万人の人口の民族構成はムスリム系 44%、セルビア系 33%、クロアチア系 17%だった。旧ユーゴ連邦の崩壊が進む中、92 年 4 月、独立を巡って民族間で紛争が勃発し、3 年半以上にわたり各民族が全土で覇権を争って戦闘を繰り広げた結果、死者 20 万、難民・避難民 200 万と言われる戦後欧州で最悪の紛争となった。95 年 12 月、 Dayton 和平合意の成立により戦闘は終息。展しているが、現在でも約 100 万近くの難民・避難民が存在すると言われる。



- ・ボスニア政府(モスLEM)・・・「紛争の国際化」を決定
  - ・ルーダー・フィン社(PR会社)との契約・・・シライジッチ外務大臣をマスコミ受けの良い話し方、間のとり方などをレクチャー 《PR会社》・・・Public Relations
  - ・情報の拡大再生産・・・ボスニアに関する情報を常に各メディア、政治家に送付
  - ・民族浄化(Ethnic Cleansing)と強制収容所という言葉・・・メッセージのマーケティング
- 例) ニューヨークタイムズ紙『Ethnic Cleansing』の掲載回数 1992 年 6 月…0 件、7 月…23 件、8 月…55 件

⇒ 西側諸国、特定の宗教勢力、人権団体を動かす十分な動機となった

## ●紛争と資源

## ◇資源と紛争のあいだの関係

・イデオロギー闘争から資源紛争へ

《紛争の発端》・・・人々の不満やイデオロギーの違い、外部の資金援助をもとに開始

《紛争の継続》・・・石油、鉱物、宝石、木材といった資源の略奪によって継続

## 【資源をめぐる主要な紛争】

コロンビア:石油

1992 年からバーレル当たり 1 ドル以上の「戦争税」が外国企業に課せられ、オクシデンタル石油社は軍隊に直接の費用も払っている

スーダン:石油

1980 年に石油が発見されて後、政府が和平を破棄、83 年に内戦が再開して以降、200 万人以上が死亡し、100 万人が難民となり、450 万人が立ち退かされた。石油収入は武器輸入に使われ、軍事支出を 3 倍にするのに貢献している。

## ◇資源をめぐる紛争の分析

・冷戦が終わった後の紛争の力学【紛争長期化の論理】

《冷戦の終結》・・・第 3 世界にとって超大国が行っていた支援が打ち切られたか、減額されたことを意味する

結局、独自の資金源(略奪、誘拐、取引の独占支配、麻薬など)に頼るようになる

⇒紛争の目的が変更 《イデオロギー→資源の支配、略奪》

⇒そのため、敵対する両者間の全面戦争は一般的に避けられる

《共通の目的》…略奪を容易にし、平時であれば犯罪行為とみなされる行為を認める状況の永続化

《対象の変更》…兵士→民間人 抵抗なく資源を支配するため、武力で支配するかテロで追い出そうとする  
「だからこそ、極端で人目につく残虐行為が重要になっている」(サセックス大学のマリー・カルドー)

紛争＝中央政府、武装勢力問わずに特権階級の維持に貢献、武装行動を半ば合法化  
「紛争の早期解決」よりも「紛争の長期化」を選択するようになる…【紛争長期化の論理】

### ◇紛争の副産物

#### ・民間軍事会社

提供するサービス…訓練、コンサルティング、施設警備、武器の調達や仲介、軍事作戦の展開

例)エグゼクティブ・アウトカム社(廃業)、ディフェンス・システムズ社、サンドライン・インターナショナル社

代価として関連企業への鉱区使用权、伐採権を譲渡する場合もある

#### ・子ども兵、小型武器

子ども兵…確認されるだけで30万人

小型武器…年間600万丁製造、少なくとも5億5000万丁の小型武器(拳銃、軽機関銃など)が存在

### ●私たちにできること(紛争ビジネスに対して)

#### ・市民社会の挑戦(資源摘発キャンペーン)

ダイヤモンド…NGO「グローバル・ウィットネス」によるデ・ビアス社への批判

タンタル鉱石…エリクソン社、ノキア社、コンパック社などは供給ルート調べ、素材メーカーに不法に採掘された  
タンタル鉱石の買い付けを中止するように圧力

サベナ航空は欧州へのタンタル鉱石の空輸を停止

#### ・武器の拡散防止

#### ・経済の多角化

#### ・国際刑事司法裁判所の普遍化

### ●私(個人)にできること

・紛争に関する事実を知る…参考文献、インターネット、講演会に参加

・様々なキャンペーン活動に参加

・紛争と関係のない商品の購入…例:フェアトレード 【参考】グローバルビレッジ <http://www.globalvillage.or.jp/>

### 【参考文献】

高木徹:著『戦争広告代理店』講談社 2002年

クリストファー・フレイヴィン:編著『地球白書2002-03』家の光協会 2002年

ネットワーク地球村:著 地球環境ブックレット『美しい地球を子どもたちに』ネットワーク地球村 2002

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局:訳『ブッシュ政権と軍産複合体』同事務局 2002

## テラ・ルネ\*ニュース解説

テラ・ルネッサンスの取り扱う「地雷」、「小型武器」、「子ども兵」の3つの分野でのニュースを掲載し、テラ・ルネッサンスの立場から解説を加えます。

### 《地雷》

#### ●「支配国」の除去責任明記 不発弾で初の国際規範案

米軍がイラク戦争で使用したクラスター(集束)爆弾の不発弾など「戦時爆発性残存物(ERW)」の除去や民間人の被害防止を目指した初の国際規範の草案が30日、判明した。除去責任は「兵器を使用した地域を支配する国」にあるとした上で、使用した兵器の種類や形状、数量などの情報提供を求めた。

草案は、特定通常兵器使用禁止制限条約(CCW)の追加議定書の作成を進めている専門家会合の議長がまとめ、ジュネーブで6月16日から開かれる同会合で正式提示される予定。早ければ年内にも議定書として合意の見通しで、不発弾の発生率が4%前後とされる米軍のクラスター爆弾使用にも一定の歯止めがかかる可能性がある。

草案はERWを「地雷以外の不発弾や遺棄弾」と定義。1発のクラスター爆弾から数百個発生する子爆弾や通常爆弾、砲弾などを対象とした。地雷は既に別のCCW議定書で規制されている。(共同通信)

#### ●新型地雷処理機が完成 山梨日立建機「紛争地域の子供救いたい」

南アルプス市の山梨日立建機(雨宮清社長)が、親会社の日立建機(本社・東京)と共同で開発した新型の地雷処理機が完成した。22日から青森県の自衛隊下北演習場で5日間の耐久試験が行われる。試験結果をもとに改良が加えられ、来年秋以降に実用化の運びだ。

同社では95年から対人地雷処理機を開発。これまで、ベトナム、カンボジア、アフガニスタンなどに計34台を出荷した。

新型機の開発には、国の補助を得て1億6000万円を投じた。総重量40トン、ショベルを動かすアームの長さ8メートル。ショベル部分で、まず電磁石によって不発弾を除き、鎖で回転軸につないだ42個のハンマーを回転させて地雷を爆破。最後にくま手で土をさらって除去率を上げる。

鎖にハンマーを取り付けたことによって作業時の衝撃が和らぎ、くま手付き装置は世界でも珍しいという。対人地雷は従来の約6倍の速さで処理でき、不発弾やクラスター爆弾、大型地雷の処理も可能だ。

雨宮社長は「00年にアフガンで地雷除去したときに出会った子供たちは、その後の戦争でも苦しんでいる。早く救いたい」と話している。(毎日新聞)

※CCWでのERW規制が検討されることは大切なことですが、クラスター爆弾など、地雷と同じような被害をもたらす兵器の全面規制を図るために、私たち市民が意思表示することが重要です。

※新技術の開発は喜ばしいことですが、日本の地雷関連予算が技術開発と同様に、地雷被害者への支援にも充てられることが重要です。

## 《小型武器》

●小型武器会合：国連本部で各国の政府報告始まる

国連本部で7日開幕した国連小型武器中間会合は、同日から2日間の予定で、世界中に不法に回る拳銃やロケット砲などの規制・削減策をめぐる各国の政府報告に移った。

日本政府代表は、「戦闘再開を防ぎ、人道支援活動を促進し、復興の基盤を築く上で欠くことができない問題だ」と力説。米国は「小型武器規制でパートナーとなる用意がある」との立場を強調した。

米国は01年7月の国連小型武器会議で「市民の武器所有禁止」を盛り込んだ行動計画原案について、「わが国憲法は、市民が武器を所有する権利を保護している」などと厳しく批判、大幅修正を求めた。このため、文言を削除して同計画を採択するなど、会議は大荒れとなった。だが、今回、米国はパウエル国務長官名で、軍縮努力を倍増する意向を示す書簡を送付するなど協力に転じた。

計80カ国以上に上る政府報告に続いて、9日にはNGO(非政府組織)や国際機関による報告が行われ、10、11両日は回収・廃棄方法、輸出入管理など具体的な規制策について、テーマ別協議が行われる。(毎日新聞)

●監視強化の重要性を確認 小型武器会合で議長総括

国連本部で開かれていた国連小型武器会議中間会合は11日、小型武器の非合法取引監視を一層強化することの重要性を確認する猪口邦子・駐ジュネーブ軍縮大使の議長総括を全会一致で採択、5日間の会合を終えた。

議長総括は、非合法取引規制のための武器マーキング(刻印)の有効性や、武器輸出管理のための国内法整備の必要性などを指摘。武器のブローカー活動規制が多くで実施されていると述べ、規制強化を訴えた。

また猪口議長は会合終了後、小型武器への刻印実施について検討するための作業部会を国連内に設置する方針を記者団に明らかにした。

中間会合は、小型武器の非合法取引規制を定めた2001年7月の行動計画の実施状況を確認するため開催。06年までに同計画の再検討交渉が行われる予定で、議長総括は事実上、同交渉の方向性を示すものとなる。(共同通信)

※小型武器問題で障壁となっていたアメリカの態度が、同時多発テロ後、皮肉にも変化しつつあります。このチャンスはどう生かせるのか？今後、会合議長国として日本の真価が問われます。

## 《子ども兵》

●誘拐の子供45人以上水死 ウガンダ

ウガンダからの報道によると、同国の軍高官は17日、反政府勢力、神の抵抗軍(LRA)に誘拐された子供たちが先週末、首都カンパラから北東約200キロのモト川で強制的に泳がされ、少なくとも45人が水死したと述べた。

川は当時増水しており、渡ることが可能かどうか試すため誘拐した子供を川に入れたが、そのまま流されたという。

ウガンダ北部では、男の子を少年兵士、また女の子を「性奴隷」にするためのLRAによる子供の誘拐が頻発している。(共同通信)

## 活動報告(4月~7月)

### ●京都 NGO 協議会の会計に就任

京都市近辺に事務局を持つ NGO が集まって設立されたのが京都 NGO 協議会。今から 年前に設立されました。

今年の京都 NGO 協議会総会にて、テラ・ルネッサンスが会計を担当することになりました。また、鬼丸が「外務省との連携のあり方小委員会」に京都 NGO 協議会を代表して出席しています。京都地域の NGO 活動の発展のため、他団体との連携を、協議会を通じて深めていきたいと考えています。(鬼丸)

### ●青年会議所(JC)とのネットワーク

青年会議所(JC)は 40 歳までの青年経済人の団体で、全国に約 5 万人のメンバーを有しています。昨年、日本JCが主催する「人間力大賞」に、京都 JC から代表を推薦して頂き、大賞の 10 名に選ばれました。

そのようなきっかけで京都JC不動産クラブ、亀岡JCなどで講演させて頂いたり、5 月に京都 JC 平井理事長と、6 月に日本 JC 揚原会頭と続いて意見交換をするなど、テラ・ルネッサンスと青年経済人との新たなネットワークが生まれつつあります。別ページでご紹介した「二条城国際音楽祭」への参画も、京都 JC からのご紹介によるものです。



平井さん(京都)、代表、揚原さん(日本 JC)

地域に根をはって活動される JC の皆様とのつながりを大切に、活動を展開できたらと願っています。(鬼丸)

### ●メンバーズワンデイミーティング

6 月 25 日、テラ・ルネッサンス初の「ワンデイミーティング」が京都で行われました。遠方から 70 歳の方が参加してくださったりと、少人数ながらも中身の濃いミーティングを行うことができました。

特に午前中のセッションでは、テラ・ルネッサンスの理念を明確化することによって、テラ・ルネが、何を目標に、どんなアプローチでそれを成し遂げていくのかが、はっきりしました。また、「対話」のセッションを設け、世界のさまざまな「変化」に、「対話」がどのような影響を与えてきたかのレクチャーを聞いた後、実際に「対話」のグループワークをおこないました。

ここで、テラ・ルネッサンスの活動理念を記しておきます。

- ①私たちは一人ひとりに「未来をつくる力」があると信じ、市民の可能性を追求しています。
- ②私たちは内なる変化がすべての変化の始まりであり、変革の主体者は私自身であることを理解しています。そして、他人も変革の主体者であることを理解し、相手を尊敬しています。
- ③私たちはあらゆることは常に変化することを理解し、あきらめずに活動し続けています。

午後は、テラ・ルネッサンスの事業や現状を把握してもらうことに重点をおき、これからの活動の予定や、会計報告などを行いました。さらに、1周年イベントでもお招きした、吉村誠司さんが駆けつけてくださり、イラク訪問の報告をしてくださいました。

ワンデイ・ミーティングは、その性質上、これからも少人数制で行っていこうと考えております。中身もどんどん改良をしていきますので、会員

の方は、ぜひご参加ください。(森本)

### ●テラ・ルネ神奈川、初の講演会！

テラ・ルネッサンス神奈川の皆さんが、初めて講演会を開催されました。当日、19名の方が参加。4名もの方が入会。カンパも22,130円集まりました。

今回、主催された瀧本さん(テラ・ルネ神奈川鎌倉グループ代表)は、「全て初めての体験で大変でしたが、活動が続ける中でいろいろなことに気付いて、とても良かったです。」と感想を伝えてくれました。

今後大蔵さん(横須賀グループ代表)主催の講演会が9月に開催されるなど、楽しみながら活動を展開してくださっています。(鬼丸)

### ●「ひとりでも出来た！PEACEな活動」

「ノーモア地雷」というマンガを書くことによって、多くの人々に地雷廃絶の重要性を伝え続けてくれている柴田知佐さん。現在、高校1年生になりました。今回、高校生になった柴田知佐さんをお迎えして、「私にもできたPEACEな活動」と題して、講演会を開催しました。

講演前には、ジャスコ洛南店内にて募金活動をし、買い物客に「地雷をなくそう」と私たちと一緒に訴えてくれました。

講演会場には約40名近い参加者。午前中に訪問した聖母学院小学校の生徒さんが、柴田さんの話をぜひもう一度聞きたいということで、お母さんと一緒に参加してくれたことに、とても嬉しくなりました。

柴田さんのお話は、なぜ地雷のことに興味をもったのか。義足の聖火ランナー、クリス・ムーンさんとの出会い・・・など、たくさんの方を紹介してくれました。

そして、講演会の最後、柴田さんが小学5年生の時に、初めて地雷のことをお話してくれた渡辺さん(NPO ネットワーク地球村)が駆けつけてくれ、感動の再会となります。「伝えた(地雷の)ことが、柴田さんによって、たくさん人に伝わったこ

とがとても嬉しいです」と渡辺さん。

講演を含む、この日のことは、8月13日放送の「所さんの笑ってこらえて(日本テレビ)全国女子高生の旅」で取り上げられています。

私たちも映っているかもしれませんが、それよりも柴田さんの話に、ぜひ心を傾けてみてください。きっと何かを感じることでしょう。(鬼丸)

### ●ノーモア地雷デー(7/21)

熊本で地雷廃絶活動をされている最相博子さんの提案で、毎年海の日には地雷問題を考える日として始められた「ノーモア地雷デー」。関西地域で地雷問題に取り組むテラ・ルネッサンスでは、京都市内で地雷問題に関心を持つ小・中学生を中心に街頭募金を行うことを企画しました。

予定では、約50人が6ヶ所で一斉に募金活動をするつもりで準備を進めていましたが、前日の天気予報の関係で、結果的には学生以外の13名の参加者で街頭募金をすることになりました。初めて街頭募金に参加する方もいて、初めは馴れない行動に戸惑いながらもどんどん呼掛けを繰り返していくうちに、しっかりと声のでるようになっていました。

予定よりは小さな規模で行ったノーモア地雷キャンペーン。参加者ひとりひとりが自発的に、しかもいきいきと行動している姿は、道行く人の目に止まったことと思います。

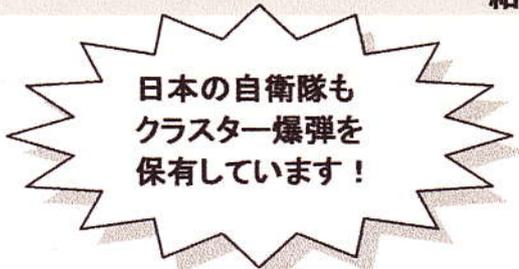
さてさて、気になる募金額ですが・・・なんと、**¥20,261**も集まりました！！

テラ・ルネッサンスが通常3時間行っている街頭募金の最高額が約¥15,000だったので、今回1時間も少ない時間で、予想以上の結果になりました。そして、キャンペーンが終わった直後のみなさんの表情を見ると、金額よりも大切なものが得られたように感じます。

今回「ノーモア地雷キャンペーン」を担当して、至らぬ点はたくさんありましたが、みなさんのご協力により無事終わることができました。

本当にありがとうございました！(春山)

# ERW廃絶キャンペーン クラスター爆弾をなくそう



ERW(Explosive Remnants of War=紛争後に戦場に残される爆発物)とは、不発弾や、未使用のまま捨てられた砲弾などのことで、不発のクラスター爆弾も含まれます。地雷と同じように戦争が終わった後もその地に残り、人々の命や生活を脅かしますが、ERWを残す可能性のある兵器の使用制限についての国際法はまだ出来ていません。

テラ・ルネッサンスが加盟している JCBL(地雷廃絶日本キャンペーン)は ERW 被害をなくすため、ERW 廃絶キャンペーンを行っています。テラ・ルネッサンスも賛同し、署名活動を開始します。

趣旨に賛同される方は、署名にご協力下さい。署名用紙は JCBL、テラ・ルネッサンスにお問い合わせ下さい。お送りいたします。

## 〇〇クラスター爆弾って何だろう？〇〇

大型爆弾のケースに、缶ビール程度の大きさの子爆弾が数百個詰められており、爆撃機から投下するとケースが開き、子爆弾が飛散、周囲の兵士を殺傷する爆弾。広範囲にばらまかれ、敵兵士が身を隠す場所がなくなり、敵方の被害を大きくする。クラスターとは、英語でぶどうなどの「房」を表す。不発弾が多く、「第2の対人地雷」と批判される。

航空自衛隊は1987～2002年度の16年間で総額約148億円分購入し、現在も保有していることが分かった。防衛庁は予算書などで購入を明示しておらず、配備中に国会で保有の是非が質疑されたことはなかった。(毎日中学生新聞より)

□■問い合わせ□■□

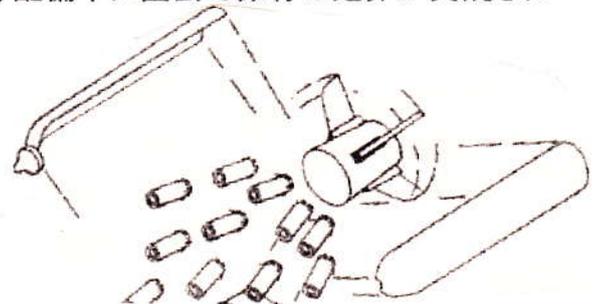
△JCBL(地雷廃絶日本キャンペーン)

TEL 03-3834-2388 FAX 03-3835-0519 URL

<http://www.jca.apc.org/banmines>

▼テラ・ルネッサンス

TEL&FAX 075-645-1802 URL <http://www.terra-r.jp>



## ●クラスター爆弾を使用している国には以下の5点を求めます

- ①住民居住区内または近くの軍事施設へのクラスター爆弾の投下を、ただちにやめること
- ②クラスター爆弾など、使用後に爆発物を残す可能性のある兵器を使用した国がその除去作業を行うこと
- ③戦争に関わった人たちは、使用した兵器の種類、場所、数などの詳細を速やかに公表すること
- ④一般市民が被害に遭わないため、クラスター爆弾など命を脅かす爆発物と安全な物体とを見分けられるような、警告や危険回避教育を徹底すること
- ⑤犠牲者援助等、被害者の要望にあった支援をし、また、除去作業を支援すること

●人道的な立場に立って、クラスター爆弾のように ERW を残す可能性のある兵器の使用、生産、移譲を全面禁止する国際的な枠組みを作ること

**●相馬雪香さんが顧問に就任されました！**

相馬雪香さんとは MRA(道徳再武装運動)という国際 NGO で、初めてお逢いしました。その後、何度かお話をさせて頂き、多くのことを教えていただきました。特に「一人ひとりが社会を変えていく。その始まりは自分から…」とおっしゃる相馬さんの人間への信頼は、私たちに大きな勇気を与えて下さいます。

民間活動家の先輩として、市民による社会変革を願う仲間として、顧問に就任頂き、多方面でご指導頂く事になりました。今回、顧問就任にあたってメッセージを頂戴しましたので、ご覧下さい。(文責 鬼丸)



相馬雪香さん

テラ・ルネッサンスの顧問に就任したことを嬉しく存じます。貴協会のビジョンと実践の方法に共鳴しているからです。

21世紀の幕開けを、どれ程多くの方が希望と期待に胸を躍らせたことでしょうか。私もその一人でした。20世紀に行われた二つの世界戦争の反省から、どうしても平和な世紀を求めずにいられなかったのです。年を重ねる毎に破壊力が大きくなる兵器、特に原爆の犠牲となった私たち日本人は、新しい世紀に大きな夢を画いたのではないのでしょうか。

ところが、2001年9月11日に起ったテロ事件で甘い夢は打ち砕かれてしまいました。一人の人間として手の下しようがない！何とも言い様のない力無さに呆然とせざるを得ませんでした。

テラ・ルネッサンスはその直後に結成されています。偶然といえば偶然でしょう。しかし、「すべての生命が安心して生活できる社会の実現」という素晴らしいビジョンをにかけて発足されたことは、本当に素晴らしい。しかも、その活動理念が具体的で、一人ひとりに未来を作る力があることを信じ、さらにより良い社会、世界をもたらす変化を他に求める前に自分からという、具体的で現実的な考えに基づいているところに非常な魅力を感じます。

平和を唱えるだけでなく、実践する。それも他に求めるのではなく自分から実践するという、具体的に変わることに、変えることがすべての始まりだと理解して、平和教育と具体的な活動を実践されることに敬意を表します。

特に今、世界で問題になっている対人地雷の除去と現地の人たちへの地雷に対する教育を援助されると同時に、「心の地雷」の除去という具体的で、誰にでも実行出来て、しかも人間関係の中で何より手近で必要なことに注目されたことを、私は心から賛同し、エールを送りたいのです。いろいろな計画を実施されるに当たって「心の地雷」除去はどれ程役に立つか計り知れません。

自己中心的な考えに気付いたときに、自分を変えること。人に(変化を)求めるより、先ず自分から変わる時に平和が単なることばとして理解されるのではなく、実感できること。

鬼丸さんの掲げられるビジョンに賛同し、共鳴され、実践される方々に一層の力が与えられることを念じてやみません。

**【相馬雪香さん プロフィール】**

1912年、東京生まれ。「憲政の神様」と呼ばれた尾崎行雄の三女。31年、女子学習院卒業。46年、リーダーズ・ダイジェスト日本支社に勤務。79年、難民を助ける会発足、会長を務め現職。社団法人国際MRA日本協会名誉会長ほか、多くの要職を現在も務める。

## テラ・ルネッサンスフォーラム 2003 ～変えられないものなんて何もない!!～

テラ・ルネッサ  
ンス史上最強  
のイベントです



ウオン・ウィン・ツァン



小田全宏



鬼丸昌也

お申し込み  
はお早めに

様々な方のご協力を得て、チャリティーイベント「テラ・ルネッサンスフォーラム 2003」を開催致します。フォーラムという名前には、参加者がただ参加するだけでなく、公演を通じて、自分にも社会を変える可能性があることに気づき、集った人々で新しいネットワークを生み出せればと願い、名づけました。

この度は、全国300ヶ所以上で公開討論会を実施、国民の意識の変換が社会を変えると訴えていらっしゃる小田全宏さん、自身の音楽を通じて「内なる可能性」を伝えてくださるピアニストのウオン・ウィン・ツァンさんが参加くださることになりました。講演、対談、大学生によるディベート、コンサート、たくさん催し物が、皆様の心に感動を提供します。このような機会は大変貴重ですので、ぜひ会員の皆様にはお誘いあわせの上、お早めにご参加ください。

出演：小田全宏(日本政策フロンティア代表)、ウオン・ウィン・ツァン(ピアニスト)、鬼丸昌也ほか

日時：2003年9月27日(土) 13:30開場 14:00～21:00《途中休憩あり》

場所：リーガロイヤルホテル京都「春秋」の間

参加費：前売り 3,500円、当日 4,000円(ワンドリンク付)【チケット提示により出入り自由】

※収益はテラ・ルネッサンスの行う地雷除去支援、子ども兵問題の調査活動に充てられます

■□■チケットのお申込は□■ 入金を確認後、チケットを発生します

**郵便振替 00950-7-13360 テラ・ルネッサンス基金**

※通信欄にチケット送り先、ご氏名、電話、チケット枚数をご記入下さい。

### 《小田全宏》

1958年滋賀県生まれ。東大法学部卒業後、松下政経塾入塾。一貫して人間教育を研究。数多くの企業で、教育実践活動を行い、年間200回の講演をこなす。近年、公開討論会を全国に広げるリンカーン・フォーラムの活動を展開。日本政策フロンティア(代表)。(株)ルネッサンス・ユニバーシティ代表取締役会長。松下政経塾4期生。

### 《ウオン・ウィン・ツァン》

1949年、神戸生まれ。ピアニスト、作曲家、編曲家。88年、瞑想の体験を通して自己の音楽の在り方を確信し、ピアノソロ活動を開始。91年、SATOWA MUSICを発足。「フレグランス」以降14枚のCDをリリースしロングセラーを続けている。97年「家族の肖像」のテーマ。99年、「If There Were No Mines」。2000年、「Feel」に「運命と絆」を提供。2001年、NHK「水と森が生んだ奇跡～世界遺産 中国・九寨溝」のテーマ曲と音楽。2002年、映画「朋の時間」。全国各地でコンサートを行い、海外でも活動。

## ●二条城国際音楽祭 ～国境を超える友情～

今年、築城 400 年を迎える二条城。それを記念して「二条城国際音楽祭」が開催されます。芸術監督は京都市出身のツトム・ヤマシタさん。そして、今回、加藤登紀子さんが新曲「愛 Love Peace」を披露されます。

豪華アーティストが出演するイベントの目玉は、何と言ってもユネスコを通じて招待するアフガニスタン、インド、タイ、ベトナム、インドネシアの子どもたちと、加藤登紀子さん、出演者たちの合唱です。

音楽祭実行委員会の一員である京都青年会議所から紹介され、アジアの子どもたちが来日している間の歓迎・交流プログラムに、テラ・ルネッサンスも参加することになりました。

子どもたちに良い思い出を作ってほしい。子どもたちを通じて京都市民に、少しでも世界の現状に関心を持ってほしい。そんな願いを込めて、プログラムを作成していきたいと思います。

※二条城国際音楽祭 <http://www.city.kyoto.jp/bunshi/bunka/page037.html>



キャンペーンソング「愛 Love Peace」

## ●インターン生の受け入れを開始します

テラ・ルネッサンス事務局では、今年度からインターンの受け入れ態勢を整え、学生の方々にも NGO の活動意義や運営の仕方などを学んでもらえるようになりました。インターン生は運営スタッフとして、会の企画から運営までを担ってまいります。

8 月から 10 月末まで、記念すべきひとり目のインターン生がやってきます。大きなイベントも立て続けに予定されており、インターン生の活躍に期待できそうです。

### ～同志社大学 河合謙佑さん～

みなさんこんにちは。8 月よりテラ・ルネッサンスで、インターンシップ生としてお世話になります同志社大学 3 回生の河合謙佑と申します。

僕は今までいくつかの NGO 団体でボランティアを経験してきました。例えば去年の夏はインドに 6 週間こもり、山岳地域の子どもに英語を教えるプロジェクトに参加しました。そして、ボランティアとして活動していくうちに NGO そのものに興味を持ち、スタッフとして関わってみたいと思うようになりました。今回インターンを通して NGO とは何か、どのようなことをしているのかを経験することで自分の中に取り入れていきたいです。そのためにも、学生という身分ですが、インターン生＝社会人という意識をもって取り組んでいきます。

数あるインターン先の中からテラ・ルネッサンスを選んだ理由は、僕自身海外の社会問題に興味があったからです。特に貧困と児童労働、児童教育に興味があり、地雷や子ども兵もこれらの問題に絡んでいます。多くの人と接し意見を交換することで、自分の視野や考え、また知識を広げていくことも今回インターンでの僕の狙いです。

今後みなさんにお会いすることを楽しみにしています。よろしくお願いします。

## 平和セミナー(講演)やいませんか！

平和セミナー(講演)は、紛争に関する事実を伝え、私たちが争いのない社会をつくるために、何ができるのかを考える“場”です。様々なデータ、体験に基づいて以下のテーマについてお話をしています。今回のヨーロッパ NGO 視察派遣を通じて、内容も更にバージョンアップ！

### 【総合テーマ】

#### 1、『子どもたちの笑顔のために ～争いのない世界を求めて～』

現代社会の様々な問題の中から、地雷、小型武器、紛争ビジネスなど、平和に関する問題を国際機関、現場のデータを基に分かりやすくお話しします。また、争いのない平和な社会を残すために、私たちに何ができ、何を求められているのかを考えます。

### 【個別テーマ】

#### 2、『地雷畑で見た夢 ～地雷廃絶を目指して～』(地雷、クラスター爆弾)

7,000 万個も未だに埋設され、30 分に一人の割合で被害者を生み出している地雷。地雷がもたらす被害状況を地雷原での視察も踏まえてお話しします。

#### 3、『紛争下の子どもたち』(子ども兵、小型武器、子どもの人権など)

10 代で徴兵される子どもたち。軍隊の中で子どもたちは暴力と恐怖の中で暮らすこととなります。紛争のなかに生きる子どもたちが子どもらしく生活できる社会の実現に向けて、私たちに何ができるのか考えていきます。

#### 4、『紛争ビジネスと平和』(戦争経済について)

なぜ争いが起こるのか。広告代理店、傭兵会社など、軍産複合体が果たす役割をお話することで、その根本的な問いかけに経済的側面から答えを探っていきます。

### ●ハーフデイワークショップ

通常の講演は90分から120分で1つのテーマについてお話しています。さらに平和について、より多角的に理解して頂けるように、総合テーマと個別テーマを組み合わせたり(ハーフデイ平和セミナー)、講演とワークショップを組み合わせたり(ハーフデイワークショップ)しています。

### 【講師プロフィール】 鬼丸昌也(おにまるまさや)

1979 年、福岡県生れ。高校在学中にアリヤラトネ博士(スリランカの農村開発指導者)と出逢い、『すべての人に未来を造り出す力がある』と教えられる。様々な NGO 活動に参加する中で、異なる文化、価値観の対話こそが平和を造り出す鍵だと気づく。2001 年、初めてカンボジアを訪れ、地雷被害の悲惨さと、地雷を通じて見えてくる世界の諸問題の原因を知り、このことを多くの人に伝えるための講演活動を始める。2001 年 10 月に NGO「テラ・ルネッサンス」設立。現在、テラ・ルネッサンス代表。地雷廃絶日本キャンペーン地域コーディネーターを務める。

### 講演のお申し込み、ご相談は

テラ・ルネッサンス事務局 TEL&FAX 075-645-1802 URL <http://www.terra-r.jp>

612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 5-23 内藤マンション 302

## 書き損じ葉書、お中元の品物、贈ってください!

書き損じ葉書の回収の呼びかけに、多くの方が応えてくださいました。集まった葉書の手数が約100枚。新しい葉書に交換し、寄付のお礼状などに使わせて頂いています。通信費の削減に大きく役立っています。暑中見舞いの季節、書き損じ葉書ができましたら、ぜひ事務局までお送り下さい。現在、テラ・ルネッサンスでは、フリーマーケットに参加する計画を立てています。販売収益を事務局の運営や地雷除去の支援に充てる予定です。皆様のお宅で、眠っているお中元の品物がありましたら、同じく事務局までお送り下さい。

《送り先》 612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 5-23 内藤マンション 302  
テラ・ルネッサンス 品物係 TEL 075-645-1802

### ●会員の更新をお願いします。

2003年4月～7月までに更新下さった方々、ありがとうございます。テラ・ルネッサンスの事務局運営費は、ほとんどを皆様の会費によって賄われています。今回、更新のご案内をさせていただいた方には、お手数をお掛けいたしますが、同封の郵便振込表で会費を納入頂きます様、よろしく願い致します。(下記の一覧表から名前が抜け落ちている方がいらっしゃいましたら、ご容赦下さいませ。)

#### 【新規会員】

##### \*個人会員

西川 由貴子(広島)  
川村 真希(熊本)  
野村 啓介(京都)  
竹内 裕貴(京都)  
平井 誠一(京都)  
最相 博子(熊本)  
美馬 一王(奈良)  
大池 幾子(滋賀)  
石川 美和子(京都)  
岡澤 成郎(東京)  
和知 雅子(神奈川)  
井上 マサ子(神奈川)  
横山 キヌ(東京)  
杉田 敦子(神奈川)  
奥藺正弘・裕美(神奈川)  
山地美知子(神奈川)  
横田通子(神奈川)

##### \*サポーター会員

白井 薫(広島)

##### \*ジュニア会員

松宮 綾音(京都)

#### 【更新】

##### \*個人会員

本池 順子(熊本)  
小林 英之(福岡)  
田中 宏昌(京都)  
二川 智子(大阪)  
秋貞 早苗(神奈川)  
小林 たか子(和歌山)  
水上 国雄(京都)  
折尾 久美子(宮崎)  
篠崎 榮(熊本)  
白木 力(熊本)  
白木 悦子(熊本)  
山岸 隆(滋賀)  
掛野 珠代(滋賀)  
越智 綾子(埼玉)

古川 真理子(東京)

小久保 正行(愛知)

橋本 徹(東京)

杉山 大門(京都)

中山 香(静岡)

人見 康裕(京都)

太野垣 裕二(京都)

水上 裕之(京都)

杉山 智一(京都)

杉山 美也子(京都)

小崎 学(京都)

中西 得之(京都)

津田 啓史(兵庫)

吉田 智子(大阪)

##### \*サポーター会員

満岡 聡(佐賀)

中村 光宏(埼玉)

##### \*ジュニア会員

小崎 藍(京都)

(以上敬称略)

●今後の予定

8月3日(日)ボランティア説明会(京都)

8月4日(月)ボランティア説明会(京都)

8月14日(木)月例ミーティング(京都)

8月22日(金)パルコープ枚方(大阪)

問い合わせ:北川

8月23日(土)コスモライフ研究会(埼玉)

8月26日(火)神慈秀明会東京支部(東京)

8月28日(水)岩倉南小学校職員研修

8月28日(水)21世紀PEACE講座(京都)

8月29日(金)~31日(日)

夏ワークショップ(宮崎)

9月5日(金)ボランティア説明会(京都)

9月11日(木)月例ミーティング(京都)

9月23日(火)平和の祈り(東京)

問い合わせ:加瀬 03-5796-9334

9月25日(水)21世紀PEACE講座(京都)

9月27日(土)

テラ・ルネッサンスフォーラム 2003(京都)

※太字はテラ・ルネッサンス主催イベントです。問い合わせは事務局(075-645-1802)

※下線は代表講演です。一般公開のイベントは問合せ先を明記しています。

一緒にテラ・ルネッサンスを造っていきませんか(会員募集)

テラ・ルネッサンスは世界平和の実現を目指す市民団体です。多くの市民が参加することで、世界を変える力が大きく生み出されます。テラ・ルネッサンスの趣旨に賛同される方は、ぜひメンバー登録をお願いします。皆様の想像力と行動が、確実に世界を変えていきます。

【会員特典】

- ・活動報告、平和問題レポート掲載の会報誌(季刊)の贈呈
- ・テラ・ルネッサンス主催のイベントの優待 など

【会員種別】 入会金 1,000 円(登録手数料、入会時のみ)

会員	個人会員 3,000 円/年
	ジュニア会員 1,000 円/年(18歳以下)
サポーター	サポーター会員 30,000 円/年
	団体会員 50,000 円/年(団体のみ)
	ファンクラブ会員 ひと口 5,000 円/月

【例】個人会員 入会時は入会金+年会費で 4,000 円 2年目からは会費(3,000 円)のみ

郵便振替 00950-7-133760 加入者名 テラ・ルネッサンス基金

1,000 円 = 10 m<sup>2</sup>(たたみ 6 畳)

地雷撤去支援など、テラ・ルネッサンスの実施する支援事業に継続的なご支援をよろしくお願い致します。

例えば、1,000 円で約 10 m<sup>2</sup>での地雷撤去作業、約 2 万円できれいな水を提供する井戸を建設することができます。ご寄付は下記の郵便口座に送金ください。

郵便振替 00950-7-133760 加入者名 テラ・ルネッサンス基金

※通信欄に「地雷撤去」、「被害者支援」など、使用用途を記入下さい